

オーストラリア金融政策（2024年3月）

物価見通しのリスクバランスが均衡し、政策スタンスは中立に

2024年3月19日

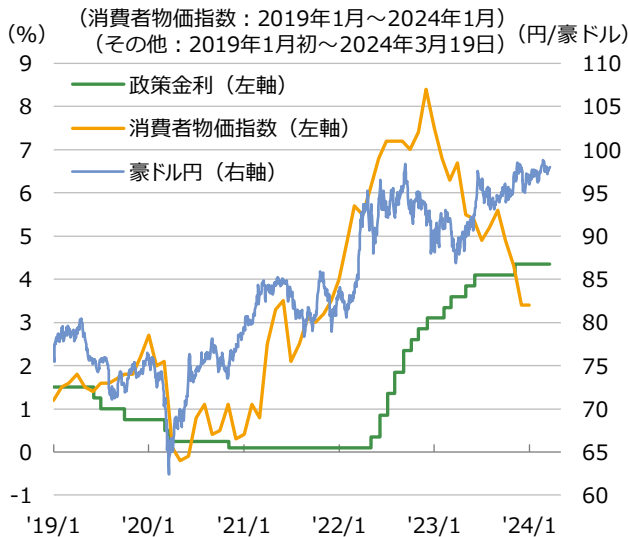
次の一手は利下げが濃厚だが、時期は欧米の主要中銀から遅れる見込み

RBA（豪州準備銀行）は3月18日（現地、以下同様）から19日に開催した理事会で、市場予想通り政策金利を4.35%に据え置くことを決定しました。金融引き締め方向に傾斜した文言が声明文から消えたことなどを受けて、金融市場は金利低下・株高・豪ドル安で反応しました。ただし、直後に日銀の金融政策決定会合の結果が発表され、円安が進行したため、豪ドル円は方向感に欠ける動きとなりました。

前回会合以降に発表された経済指標に特段のサプライズはありませんでした。1月消費者物価指数は前年同月比+3.4%と、昨年12月から変わらず、RBAは「直近の予測に沿っている」と評価しました。また、10-12月期賃金指数は前期から伸びが加速しましたが、「ピークに達したようだ」との見方を示し、10-12月期実質GDPについては「減速を確認した」と記しました。このように経済・物価動向がRBAの想定通りに進展していることこそが、インフレ目標達成に向けた自信を深める要因になっている模様で、声明文から「追加利上げの可能性は排除できない」との文言が消え、金融政策スタンスが中立化しました。ブロック総裁は会見で「利上げを否定できるほどの自信はないが、インフレ目標達成への道筋は見えていると思う」、「リスクのバランスは均衡した」などと声明文の内容を変更した背景を説明しました。

次の一手は利下げが濃厚ですが、豪州のインフレ率は依然高く、需給ギャップもプラスの領域にあるため、今年半ばからの利下げが予想される欧米の主要中銀に比べるとRBAの利下げ開始は遅れる見込みです。

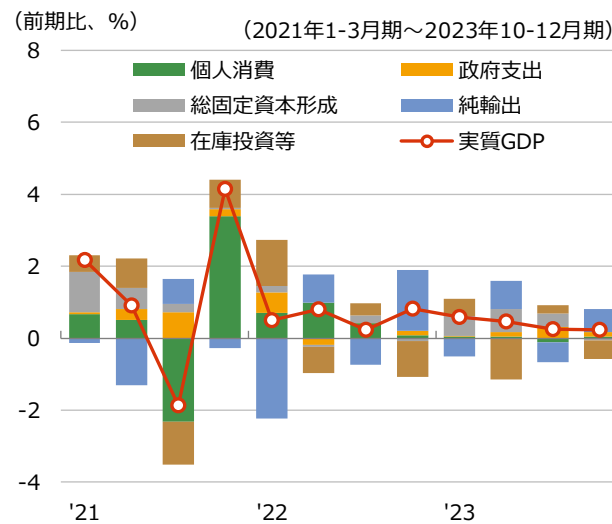
豪州の政策金利と消費者物価指数（前年同月比）



※豪ドル円の2024年3月19日は日本時間14:30時点の値

(出所) ブルームバーグ、豪州統計局

豪州の実質GDP成長率



(出所) 豪州統計局より大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。